

下水道事業特別会計

問い合わせ：留萌市都市環境部上下水道課管理係
(TEL 0164-42-2049)

総括

下水道は「汚水の排除」、「浸水の防除」、「河川・海域の水質保全」の3つの役割を持ち、市民一人ひとり、そして次の世代の市民が快適な生活と良好な環境で過ごすための重要な都市施設（財産）です。留萌市の下水道整備状況は、平成29年3月末現在で下水道管延長約114.40km、下水を処理できる区域は約508ha、下水道を利用できる人は18,489人、行政区域内人口の84.6%となっており、16,425人の方に下水道を利用いただいております（水洗化率88.8%）。

現在、平成22年度より管網整備を一時休止していましたが、平成26年度から4か年計画で東部・潮静地区の雨水管整備を実施しています。また、浄化センターが稼働して20年以上経過することから、平成27年度末に第2期長寿命化計画を策定し、改築更新工事等を進めています。

経営状況につきましては、雨水管整備や浄化センターの長寿命化計画策定等に伴う建設事業減により国庫補助金、市債が減少となり歳入は減となりましたが、経費の削減、建設事業費の減、公的資金借換の効果等により歳出の削減も図り、単年度収支（前年度への繰上充用金を除く）約5千3百万円の黒字となり、累積赤字額も約3千1百万円まで圧縮されています。

収入

(単位：千円、%)

下水道認可区域の整備がほぼ終わり、受益者負担金①の収入は縮小していますが、新規住宅等の増加により水洗化率が微増(1.2%)となり、下水道使用料②は増加となっています。

また、建設事業の減少に伴い国庫支出金③及び市債⑤は減少していますが、単年度の黒字を維持し、累積赤字の圧縮に努めています。

予算科目	平成28年度				平成27年度		平成27年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 受益者負担金	1,682	1,642	0.1	△ 40	5,001	0.4	△ 3,359	△ 67.2
② 下水道使用料	363,000	368,800	29.9	5,800	364,658	25.8	4,142	1.1
③ 国庫支出金	88,882	56,742	4.6	△ 32,140	158,837	11.2	△ 102,095	△ 64.3
④ 繰入金	367,897	362,156	29.4	△ 5,741	366,269	25.9	△ 4,113	△ 1.1
⑤ 市債	471,500	440,500	35.8	△ 31,000	517,500	36.6	△ 77,000	△ 14.9
⑥ 歳入欠陥補てん収入	38,547	0	0.0	△ 38,547	0	0.0	0	0.0
⑦ その他	2,845	2,898	0.2	53	142	0.1	2,756	1,940.8
合計	1,334,353	1,232,738	100.0	△ 101,615	1,412,407	100.0	△ 179,669	△ 12.7

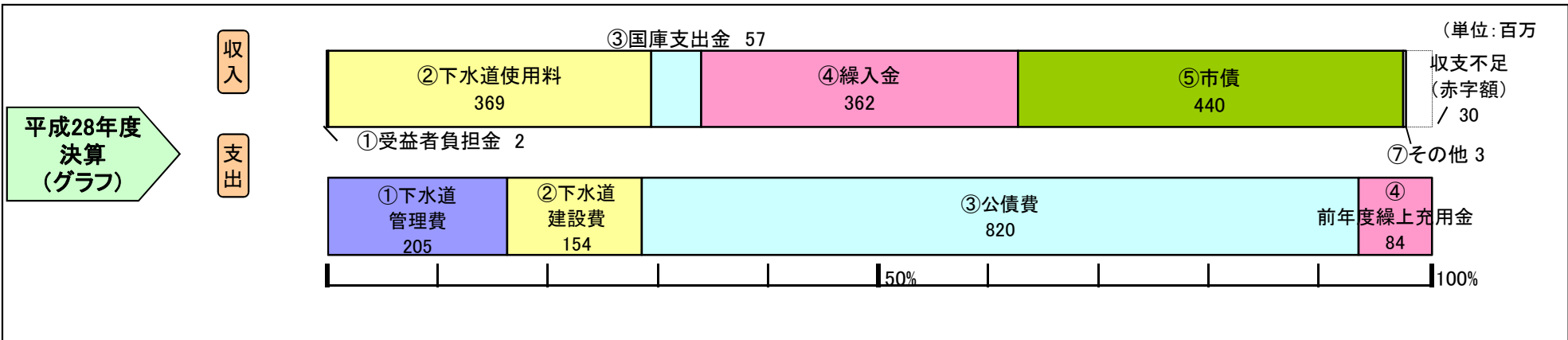
支出

(単位：千円、%)

汚水処理や下水道管の維持など下水道事業の運営に係る経費①は、浄化センターの維持管理費及び消費税納付額の減により減少となっています。下水道建設費②は、雨水管布設工事及び浄化センターの長寿命化計画に伴う電気・機械設備更新工事が減少しました。

また、下水道整備による市債(借金)の利子を含めた公債費(返済金)③は、金利見直しによる金利の減等により減少し、前年度の赤字補てんである前年度繰上充用金④も、黒字分が減少しています。

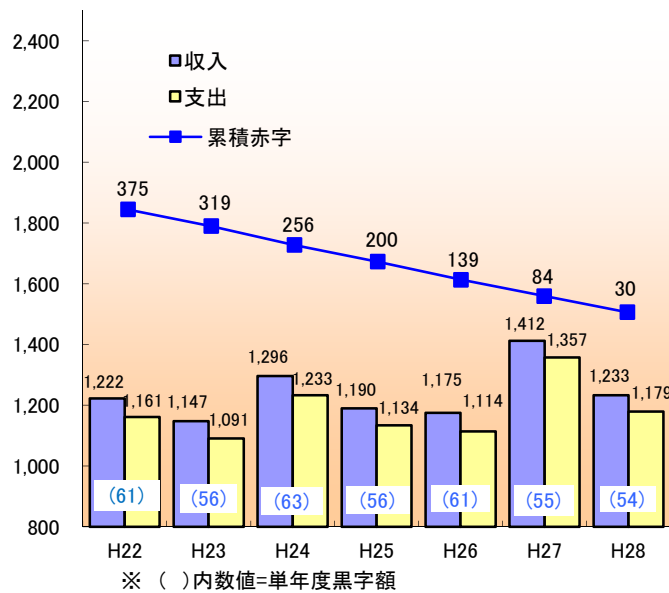
予算科目	平成28年度				平成27年度		平成27年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 下水道管理費	207,964	205,098	16.2	△ 2,866	207,664	13.9	△ 2,566	△ 1.2
② 下水道建設費	217,567	154,661	12.3	△ 62,906	324,765	21.7	△ 170,104	△ 52.4
③ 公債費	822,744	819,743	64.9	△ 3,001	824,655	55.1	△ 4,912	△ 0.6
④ 前年度繰上充用金	83,828	83,828	6.6	0	139,151	9.3	△ 55,323	△ 39.8
⑤ その他	2,250	0	0.0	△ 2,250	0	0.0	0	0.0
合計	1,334,353	1,263,330	100.0	△ 71,023	1,496,235	100.0	△ 232,905	△ 15.6



赤字の状況(平成28年度決算)

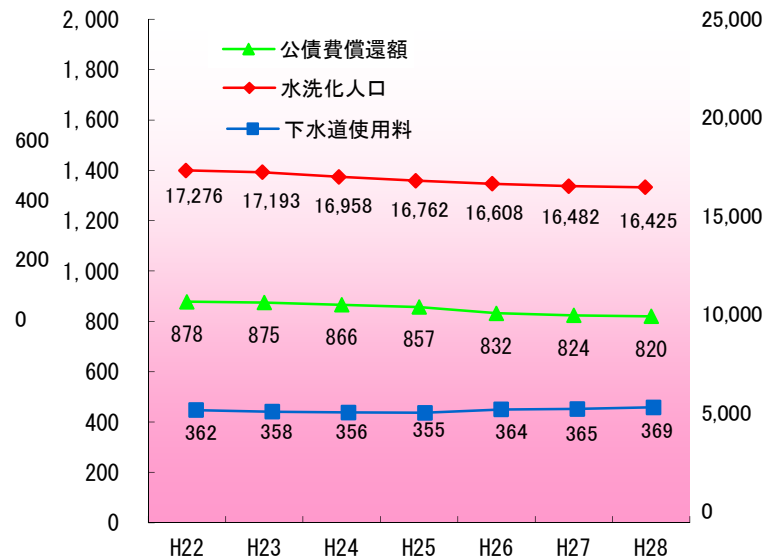
単年度収支と累積赤字の推移

(単位:百万円)



水洗化人口・公債費償還額・下水道使用料の推移

(単位:百万円、人)



下水道事業は、整備に長い年月と多額の費用を必要とし、その財源については、国庫補助金や市債(借金)により賅っています。

平成28年度決算では、人口減が進む中、水洗化人口が横ばいであり、消費税納付額の減や経費の削減及び維持管理費の減少等の効果により、単年度収支で約5,323万円の黒字となり、累積赤字額は約3,059万円まで圧縮されています。

今後も赤字解消を図るため、水洗化率の向上や未収金対策の強化、事業コストの縮減などさまざまな経営改革を行い、経営の健全化を図ってまいります。

※赤字額のうち、将来的に収入でカバーされる赤字分(解消可能資金不足額)が1億3,462万円控除されるため、健全化法による赤字額は発生しません。

平成29年度執行状況(9月30日現在)

収入

収入の状況は、平成22年度からの管網整備休止により、新たに供用開始となった区域の土地に賦課される受益者負担金①がなく収入率は前年度より減少しています。下水道使用料②については、前年度をやや下回る収入率となっています。国からの補助金③、市からの繰入金④、市債⑤等の収入については、性質上ほとんどが年度末に収納されるものです。

また、収支不足(赤字)による翌年度からの補てん金⑥については、より一層の経費削減や使用料等の収入率の向上を図り、少しでも縮小していくことを目標としています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成29年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
① 受益者負担金	592	154	26.0
② 下水道使用料	354,200	148,372	41.9
③ 国庫支出金	201,900	0	0.0
④ 繰入金	390,071	0	0.0
⑤ 市債	532,700	0	0.0
⑥ 歳入欠陥補てん収入	8,488	0	0.0
⑦ その他	0	40	0.0
合計	1,487,951	148,566	10.0

支出

支出の状況は、下水道事業の運営に係る経費①については、前年度建設費に伴う公課費(消費税及び地方消費税)の増等により、前年度の当初予算より増加しています。下水道の整備に係る経費②は、下水道施設の長寿命化計画に伴う工事や雨水管布設工事に係るもので、進捗状況により変動します。市債(借金)の返済③は、9月及び3月払いのため予定通りの執行となっています。

また、前年度の収支不足(赤字)分への補てん金④についても、予算通りの執行となっています。

(単位:千円、%)

予算科目	平成29年度支出状況		
	予算額	執行済額	執行率
① 下水道管理費	242,603	94,357	38.9
② 下水道建設費	388,900	75,781	19.5
③ 公債費	822,855	206,909	25.1
④ 前年度繰上充用金	30,593	30,592	100.0
⑤ その他	3,000	0	0.0
合計	1,487,951	407,639	27.4

※9月末において、収入済額に対して執行済額が上回っていますが、繰入金などの収入が年度末の収入となるためであり、不足分については会計間や一時借入金によって補てんしています。